

三瑞だより

令和3年度4月号
荒川区立第三瑞光小学校
校長 渡邊 滋
発行 令和3年4月6日

「何ができるか」を考えて



校長 渡邊 滋

例年になく暖かな日が続き、初夏を思わせるような気候の中、新1年生129名が入学します。そして、在校生も本日から一つ進級です。今年度の児童数は684名と、区内においても児童数のとても多い学校となり、着任2年目となった私自身も、より一層安心・安全を最優先させて学校の教育活動を行う気持ちを新たにいたしました。

私は、本校教育目標の一つ目である「明るく元気な子ども」にもある通り、子どもたちが健康で安全に、そして明るく楽しく学校生活を送れることを大切にしております。その上で学力、体力、人間関係力をしっかりと培わせることのできる学校を目指します。さらに、子どもたちに「未来を生き抜く力を育む」ために、1人1台のタブレットパソコンを活用したICT教育推進や数ある日本の伝統文化を体験する活動、理科教育の推進による科学的思考の育成を一層進めて参ります。

先日、競泳選手である、池江璃花子選手が、白血病を克服して東京オリンピックの出場権を手にするという、快挙の瞬間を見ました。制約の多い中にある私たちも、日常の生活に不安を覚えたり、不便を感じたりする日々が続いています。でも、池江選手のように、こんなにも努力を重ねて、不撓不屈の精神をもって目標に邁進する姿に感動させられました。現状をどのように克服するかというヒントとエネルギーを与えてもらいました。

学校においては、今年度が始まってまもなく、感染症対策の手を緩められない状況が続いております。でも、今ある状況をしっかりと把握して、「何ができるか」「どうすればできるか」を常に考えて、現状を克服できるような教育活動を進めて参ります。このような状況下ではありますが、保護者の皆様、地域の皆様、学校を支えてくださる多くの皆様の期待に応えられるよう、今年度も教職員一同、「明るく元気な子ども」の育成のために、全力で教育活動に邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

4月の目標

生活目標……みんな仲よくしよう

保健目標……自分のからだの様子を知ろう

給食目標……協力して食事の準備や片付けをしよう